

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	海岸公園冒険広場・海岸公園キャンプ場
2 指定管理者	冒険あそび場せんだいみやぎネットワーク・東洋緑化共同企業体
3 指定期間	平成30年4月1日 から 令和5年3月31日 まで
4 施設の利用状況	《利用者数》 163,763人 (前年度比104.7%) ※有料施設(デイキャンプ場)利用数: 2,479サイト14,260人 (前年度比91.4%) …ただし、令和2年度は4/11～5/31の間、利用休止だった。 (過去実績) 令和元年度 156,511人 (デイキャンプ場2,098サイト15,596人) 平成30年度 119,650人 (デイキャンプ場 9,686人)
	《事業》 ・冒険遊び場の運営 ・子育て・子育て支援事業 ・環境学習事業 ・文化伝承事業 ・市民参加交流事業 ・防災・減災の普及啓発事業 ・地域連携事業 ・普及啓発事業
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 27,012千円 (26,918千円) ・ その他市が負担した費用 千円 ( 千円) 《収入》 ・ 使用料収入 1,200千円 (1,022千円) ・ その他収入 千円 ( 千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ① 来園者アンケートの実施 (令和2年8月～令和3年3月) ② 海岸公園冒険広場運営委員会…令和2年度1回目(当初予定7月22日)は新型コロナウイルス感染症拡大により中止となりアンケート形式で実施した。2回目は、1月22日に開催。

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的を十分に理解し、管理運営を行っている。利用者目線での情報発信により、利用者増につながる取り組みを行っている。	24/24
II 施設の運営管理体制	適切な人員配置による運営管理を行っており、事故発生時の対応体制も整っている。来園者も参加し、実際の状況を想定した防災訓練を実施している。	24/24
III 施設・設備の維持管理	施設の管理は十分に行っている。草木の管理については、季節の遊びを考慮しながら安全に配慮して行っている。天水桶を設置し、節水に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者にわかりやすい掲示の工夫やホームページのリニューアルを行い、サービスの向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	地域団体との連携を図り、地域資源を活用した遊びのイベントを開催することにより、公園の魅力を高めるとともに周辺地域の賑わい創出効果も生み出している。	4/4

### 三 評価総括

《指定管理者（冒険あそび場せんだいみやぎネットワーク・東洋緑化共同企業体）による自己評価》
<p>前年度のアクセス路＝東部復興道路（かさ上げ道路）開通も受け、年間を通して大きく利用が増えることが予想されていた2020年度だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受ける形の一年となった。公園利用者数は、2020年4～5月にデイキャンプ場の利用休止・駐車台数制限により大きく減少したが、緊急事態宣言が解除された5月下旬以降は増加に転じ、6月以降も満車時の臨時駐車場の駐車台数制限や遊具・道具貸出等の一部制限は継続したものの、一年を通して過去2年並みないしは上回る来園者を迎えた。結果的には、来園者数は再開後3年間で最多となっている。コロナ禍の影響で「多くの人が集まる公園を避ける」人たちがいた一方で、屋内よりもリスクの低い屋外で遊ぶことを選ぶ人たちのニーズをしっかりと受け止めた。少人数での利用を呼びかけたデイキャンプ場も、閉鎖期間を除けば過去最多の利用者となっている。</p> <p>コロナ禍で制約の多い一年間となったが、単に管理を強めるだけではなく、園内をひろびろと遊べるようにする工夫を行なった（バス駐車場の遊び場としての臨時開放、遊具以外の四季それぞれの魅力の発信・遊ぶきっかけづくり、等）。自主事業についても、「密」にならない工夫をしながら少しずつ再開していった。周辺部での巡回型遊び場の展開は前年度より大幅に縮小する結果にはなったが、そんな中でも、公園の直近若林区井土地区周辺での「ひろびろとした環境を活かした遊び場」については通年で実施し、海岸公園と連携しながら、コロナ禍の中、身近な自然や地域で遊ぶことを再認識してもらおう提案を行うことができた。再開後の重要な役割である震災伝承・防災についても、継続して取り組んだ。「震災10年」に合わせた発信の機会はコロナ禍で大幅に制約を受けたが、ホームページでの発信の強化、展示・掲示の充実、学校の教育活動への協力等、できることから取り組んだ。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の管理を十分に行っており、防災訓練を始めとし事故や災害発生時の体制もしっかりと構築されている。新型コロナウイルス感染症拡大による制限の中、子どもたちがのびのびと遊べる場所を提供するとともに、主体的・創造的遊びに導くよう工夫を重ねた。また、地域や諸団体との連携を深めており、管理施設内での遊びにとらわれず、周辺地域でのイベント開催などにも取り組んでいる。HPや広報誌による情報発信による効果も高く、公園及び周辺地域の魅力を高め、交流促進に役立っている。</p>	S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施しながらコロナ下でも実施可能な自主事業を行い、公園の魅力発信に努めた。また、新型コロナウイルス感染症拡大による施設の休館等に伴う利用者対応についても、丁寧かつ適切に行った。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：建設局百年の杜推進部公園課